

## 令和3年秋期能見台地区推進連絡会

### 1 日時

令和3年10月31日（土） 16:00～17:00

### 2 場所

シティ能見台つどいの街 集会室

### 3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	24名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	5名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	5名
小学校校長、中学校校長	4名

### 4 意見交換要旨

（1）第4期金沢区地域福祉保健計画策定に向けて  
区役所より説明

（2）地区別計画の策定について

3月の地区推進連絡会、7月の連合理事会を経て策定した地区別計画策定シート（案）とリーフレット（案）について、目標の柱ごとにグループに分かれて意見交換を実施

#### ア 笑顔あふれる街

- 優先順位と分かり易さから項目および内容の変更
  - ・「子供が楽しめる取組」を最初に、「全ての世代が楽しめる取組」は後順位へと項目入れ替える。
- 地域交流を深めるにはどうしたら良いか
  - ・2か月程度のスパンで定期的な小さなイベントを実施し、「あそこに行けば何かやっている。」「知っている誰かに会える。」等、寄ってみたい場を作る。
  - ・生活の中での街中に挨拶がない！ 地域交流には、まず挨拶。
- 交流を深めるためにも、「地域会館」的場所が確保できるとなお良い
  - ・大人も、子供も気軽に集まれる、小さなイベントを定期的実施している癒しの場所は、地域交流を深めるためには大きな意味を持つと思われる。

#### イ 地域情報が共有できる街、協力し合える街

- どのような地域情報をターゲットにするか
  - ・情報の種類、性質によって、発信方法・共有方法が異なると考える。それぞれに合った仕組みを構築すべき。
- 情報共有方法について
  - ・コミュニケーション増＝地域活性化、狭い範囲ではなく広範囲・多数の情報共有

で街全体の一体感を。

- ・PC、スマホ、タブレットは高齢者が持っていない、使いこなせないといった課題があり、高齢者に配慮したツールが必要。テレビが適しており、ケーブルTVを利用した地域情報発信ができないか。能見台ミニ放送局などできないか。タブレットを各戸配布、使い方指導もコミュニケーション、見守りツールにもなる。
- ・地域のHP作成を簡単にできるように、公的なプラットフォームサービスが欲しい。必要な機能に絞りシンプルで慣れない人にも使いやすい専用システムにできると良いのでは

○ 助け合える街 学校と地域のコミュニケーションについて

- ・若い子供たちと地域の高齢者のように世代を超えた交流を増やすことで、地域活性化につながる。防犯対策にもなる。
- ・課外授業の一つとしてボランティアを生徒全員で当たり前のようにやる地区になると良い。
- ・ボランティアと堅苦しく考えず、粗大ゴミを出すのを手伝うなど簡単なことから、お手伝いレベルで良いので、小さなことをたくさんできると良い。コミュニケーションを増やすことがポイント。
- ・学校と地域のコミュニケーション窓口をどのようにするか。気軽にコンタクトできる仕組みが良い。京急ストア、ヨーカドー、駅前などに掲示板を置けないか。

ウ 助け合える街、安心して暮らせる街

○ 策定シートの文言について、わかりやすいように一部変更と補足

- ・全ての世代に関する取組

【新たな取組検討例】得意なことを活かす機会を創る人材バンクを創設しマッチング

その他、放課後学習・放課後登下校支援・地域間交流助成・など

- ・高齢者・障がい者に関する取組

【ちょいボラ】誰でも誰かのためのお手伝いするちょいボラ

その他、電球交換、草むしり、話し相手、犬の散歩など

- ・子どもに関する取組

【居場所づくり】みんなの居場所を創ろう期間

その他、育児教室、子育て支援講座、小中学校と地域の“あいさつ運動”など

○ 居場所づくりなどについて

- ・子どもの居場所づくりのニーズがあるのか、居場所の確保はどうするのか。今後の課題として検討を進める。
- ・小中学校と連携した“あいさつ運動”（各小中学校が期間を決めて実施）に地域が参加するとすれば地域内でのあいさつ運動もさらに広がる可能性があるのではないか。

